

平成12年3月(2000年) No. 411

大阪市視聴覚教育協議会第2回ビデオコンテスト 藤原純三氏の **「不思議熊野古道」が大賞受賞** **安居夫妻も特別賞と優秀賞を受賞**

このほど行われた上記大阪市視聴覚教育協議会第2回ビデオコンテストに藤原さんの「不思議熊野古道」が大賞に、安居さんの「かがり火フェスティバル in 住吉大社」が特別賞、安居良枝さんの「癒しを求めて」が優秀賞にそれぞれ選ばれ、OMC会員が上位入賞をほぼ独占したような快挙でした。おめでとうございます。なお、「不思議熊野古道」はOMC99年撮影会作品です。コンテストに応募することは作品レベルを第三者に評価していただく機会でもあり、制作意欲をかきたてるきっかけにもなりますので、これからもどしどし応募されることをOMC会員の皆様にお薦めいたします。全国を対象としたコンテスト情報は、玄光社発行のビデオサロンに紹介されています。応募の前に作品研究会で皆さんのご意見も聞くと良いですね。

3月作品研究会は14火(火)18時半よりです

冬景色をテーマに作品研究会を行います。当日は下階商店街が休業日ですから、向かって右側へ回って郵便局側からの入り口からエレベータで3階へ上がってください。多数のご参加をお待ちしています。

3月例会のお知らせ

3月例会は25日(第4土曜日)18時より、阿倍野市民学習センターで開催。どうぞ作品をお持ちになってお越しください。4月の撮影会の件などもお知らせできると思います。楽しいひとときを送りましょう。

2月の作品研究会は余呉で雪景色撮影会

今冬は前半暖冬と思われましたが、後半はぐっと寒くなって、舞鶴では16年ぶりの大雪だったとか。作品研究会もすっかり軌道に乗ってきましたが、冬の真っ白い雪のある風景の撮影勉強会として、2月11日の祭日に、余

呉へ有志を募って行ってきました。積雪状況を見ての日時決定であわただしい電話連絡でしたので、連絡がつかなかった方で、或いは参加希望の方が居られたかも知れませんがご容赦ください。
余呉は例年より雪が少なく、畑の野菜が半分首を出す程度の積雪でしたが、午前中雪が降り、何とか雪のある風景を撮影することができました。この成果は3月14日(火)18時30分よりの作品研究会にご持参ください。撮影会に参加されなかった方も、どうか「冬景色」のテーマに沿った作品なら何でも結構ですのでぜひご出席ください。

2月例会のレポート

2月例会は26日(土)18時より行われましたが、外は厳寒だということに室内は暑いほどの室温で、あわてて暖房のスイッチを切るほどの暖かさ。今月は新しく西村光雄さんが入会され、拍手で迎えられました。これから益々期待の持てる方で、今までにも立派な作品を多く発表されています。
■新入会者：西村光雄 〒562-0001箕面市箕面4-8-16 TEL0727-23-7848
■出席者：有村、今井、江村、奥、上総、勝、金子、合原、関、中尾、森、華岡、藤原、前田、増池、松本、森口、森下、森田、安居夫妻、渡辺、河合、西村(新入会者)の合計24名(敬称略)
■例会運営担当：司会・有村、書記・安居、デッキ係・渡辺、奥の両氏、受付兼照明係・安居良枝、以上の各世話役。
■上映作品(今月の講評は安居利次世話役です)

1. エリアルテスト 前田 茂夫さん 11分30秒
前月の「ある日の日本橋」のエリアルテストの詳細を解説された作品です。18コマ/秒で撮影されている8ミリフィルムをテレシネにする時は、19～20コマで映写した方がフリッカーのないきれいな画像になりますが、ナレのトーンが高くなります。そこでパソコンを使って18コマのスピードに落とされました。するときれいな画面と自然な速度を94%に落とすところがDVで撮影したテープを同じようにして、速度を94%に落とすと目で見ても動きのぎこちなさが解かる映像になりました。8ミリフィルムの時は、もともと安定性に欠ける映像ですから感じなかつたが、今のDVだと映像が精密なので同じように処理しても体感してしまいうそうです。エリアルイメージとは空中像のことですが、これを利用してテレシネにするには映写機の光源が強過ぎます。それを弱める工夫も色々されています。フィルム時代を全く知らない筆者は以上のことを理解するのに前田さんにあとからTELして質問しながらやっとなをまとめるという情けない有様でした。

2. 奈良・雪の朝 関 剛さん 3分45秒
2月9日、前日の天気予報で雪との事、研究会のテーマも雪。関さんは前の晩から奈良に泊まられて、「奈良 雪の朝」を撮られました。うっすらと雪化粧した浮き御堂。池の水面に映った逆三角形の屋根の雪。ほんのりと白さが印象的でした。雪を表現するのにこういう手もあったのかと感心していました。半分以上雪のないカットなのです。それで余計に残雪が強調されていました。弱い太陽がてり、絞りこむ事で光と影を演出されています。1枚のカットとしては完璧でもつなぐとカット間の色の違和感があるのを見て、ベテランでもそうかと少し安心しました。(失礼!)この日、6時に奈良に來られた有村さんと偶然会われたそうでベテランの努力に、住吉公園でお茶を濁す筆者とはえらい違いだと恥ずかしくなりました。

3. 余呉湖の思い出 有村 博さん 7分14秒
3月11日OMC有志と雪を撮るため余呉湖に行かれました。そこは20年前やはり同じOMCの人たちと来たところ。湖畔に立つと自然に当時のことが思い出されます。あの時たくさんあった「はさくい」の事、養蚕農家で撮らせてもらった系くりの歌、現在の雪の画像と当時の画像を混ぜながら余呉湖のことを回想されています。よく注意しないとテレシネの画像がDVの画像とわからないぐらいきれいでした。同じところに来て以前を回想するシナリオは一度は作って見たいテーマですが、まえのカットがいいの

